

週刊NY生活 動画 www.nyseikatsu.com



川崎重工の米国現地法人カワサキ・レールカー社（KRC）ニューヨーク州ヨンカース市、岩崎宏治（E.O.）を通じて、メトロポ...

カワサキ・レールカー L-鉄道92両受注

リタン交通局（MTA）傘下のロングアイランド鉄道とメトロノース鉄道が共同で調達する通勤電車92両を...

受注した車両は構体製作および機器取り付けをリンカーン工場（ネブラスカ州）で、最終組立および機能試験をヨンカース工場で行...

両、受注総額は最大約18億3000万ドル（約1830億円）と、同社における過去最大規模の鉄道車両契約となり、2022年まで生産が継続...

合わせた新車投入計画と老朽化した既存車の更新、ならびに最新技術の採用による旅客サービス向上のため導入されるもの。同社は米国で累計4000両を超える受注実績がある。岩崎CEOは、「ニューヨークを中心に仕事を取ろうとしている弊社にとっては意義のある受注」と語った。



NY市立大学ラガーディア校の学生と記念撮影する左からメロウ学長、昭恵首相夫人、草賀NY総領事（25日午前、本紙・山越晃記者撮影）

安倍首相夫人 日米学生交流を視察

安倍首相の国連総会出席に同行した昭恵夫人が、25日、ニューヨーク市立大学ラガーディア校を訪れ、首相イニシアチブの日米交流プログラム「カケハシプロジェクト」に参加した同大学生に面会した。

国際交流基金が実施する同プログラムは、政府や外務省が推進する青少年交流の一環として、日米4600人の交流を通じて相互理解の深化、将来の日米ネットワーカーの育成、グローバル人材の育成、訪日外国人の増進を目的とし、日本経済の活性化などを目指している。

日本の高校・大学生など青少年2300人は、2週間米国に短期派遣され、交流事業やホームステイを通じて日本の魅力を発信。一方、米国の高校・大学生など青少年300人を日本に10日間招待し、歴史的遺産、最先端技術の視察やホームステイなどを行い、日本の魅力への理解を深める。

昭恵夫人はこの日、同校学生と記念撮影をしたほか、学校関係者との交流を通じて日米相互理解の推進に努めた。

NY赴任中の経費不正使用騒動を綴ったブログが本に 「長谷川豊事件」を本人が語る フジテレビ元アナウンサーが出版

フジテレビ元アナウンサーで昨年6月までニューヨークに駐在していた長谷川豊さん（38）が23日、紀伊國屋書店NY本店で新著『いつも一言多いあのアナウンサーのちよとめ』の出版記念サイン会を行った。

経費不正使用の疑い、きなり降板、視聴者に説明する機会もなく帰国命令を受けた長谷川さん。勤務しながら自分が社内で受けた処分を反論するのは筋違いと、このほど会社を辞めて出したのがこの弁明の書。サイン会当日は、在留邦人が詰めかけ買い求めた。長谷川さんは「自分はジャーナリストとして犯罪や政治の悪を追求してきた人間です。自分自身のことだけをごまかして黙っていたのは卑怯だと思った。突然ボクは何の発言も許さずテレビ画面から姿を消さなかったもの」と語り、



国連本部のローズガーデンで18日、日本が約60年前に国連に贈った平和の鐘を鳴らす式典が開かれた。国連では、毎年9月21日の国際平和デーに平和の鐘を鳴らして非暴力の信条を再確認し、全世界の停戦を呼びかけている。

国連で平和の鐘 吉川大使夫妻も出席

また、着任したばかりの日本の吉川元偉（もとひで）国連特命全權大使夫妻も出席した。吉川大使は、「日本が、平和国家たというこを国連では毎年9月に

なければならなかった。多くの番組を楽しまし、皆様に何ら説明がなされていないので、フジテレビを辞めてでも、全部誠実に話すのが僕の務めだと思つた。この本は、ボクがなぜ会社を辞めることになったのか、14年間レポートとして携わってきた人間として長谷川豊が語る『長谷川豊事件の真相』を通常レポートと同じ手法で綴ったもの」と語り、

エバー航空（本拠地：台湾）の台北（桃園）→ロサンゼルス線にハローキティを機体にしたボーイング777-300ER機が導入されることになり、その第1便が18日、ロサンゼルス国際空港に到着した。エバー航空の会長がパイロットのK.W.チャン氏が自ら操縦席に入り台北を出発。ロサンゼルスやエルセグンド市関係者をはじめサンリオの辻彦副社長、ミュージシャンのYOSH I KIさん、ハローキティのヘッドデザイナーの山口裕子さん、ファン70人余りが同乗し到着、「ハローキティ・ジェット」の就航を祝った。

機体には描かれた絵は「ハローキティ・ハンド・イン・ハンド」と名づけられ、ハローキティは7つのサンリオのキャラクターが描かれている。台北→ロス線の週17便のうち3便に導入される。

同航空はサンリオと提携し、これまでも日本線などアジア線で「ハローキティ・ジェット」を使用しているが、米国線では初めて

ニューヨーク検事当局が、やらせレビュー業者の「掃除」に乗り出す

この「やらせレビュー」書き込み事件、日本においては昨年の「食べログ」への書き込みをめぐる同様の一件が有名だが、消費者庁はやらせに関わった業者に対して行政処分を科すのは困難との見解を表明している。

米国ではこのような問題に関する、以前から民間でのトラブルは多く見受けられていたが、今回検察が足を踏み入れたことで事態が好転する可能性が出てきた。

むろん、これで問題すべてが解決したわけではなく、技術的な抜け道探しも含めて、今後もいまだこころが続き、間違ったことと思われる。我々自身がレビューサイトの書き込みを「話半分」として捉えていく以外ないのだから。（江川央/デジタルメディア・コンサルタント）

www.egawanakaba.com

DIGITAL 最前線

飲食業をはじめとした地域密着型ビジネスにとつて、地元客によって広げられる好意的な口コミ情報は、強い味方ではない。広告主の意思が100%反映される新聞や雑誌等の広告とは異なり、口コミによる情報は第三者の目を通してローカルビジネスの評価がなされるため、そこに書かれている情報の信頼性は高いと一般的には考えられている。

インターネットの普及によってそういった口コミ情報が比較的簡単に共有できるインフラが整備され、それをコンテンツとして位置付けた情報サービスも多く存在している。その代表格が Yelp や、ジーグーサーチ、グーグルローカルである。

ニューヨーク検事当局は23日、これらのサイトを通過して、やらせの口コミ情報を掲載していた19業者を摘発し、今後虚偽のレビューの掲載を中止する。合計35万ドル以上の賠償金を支払うことで合意し、発表した。調査は1年以上にわたり、なかには検事当局メンバーがブルックリンにあるヨーグルトショップのオーナーになりすま

（この式典で）再確認されている。これからも我々が自身を平和にするために努力しないといけない」と話した。平和の鐘は、愛媛県宇和島市の中川千代治氏（元宇和島市長）が1954年に約60の国連加盟国の硬貨を溶かして作り、日本国連協会から国連に寄贈された。もう二度と戦争が起きないようにという願いを込めた。（前田真里、写真も）

レストラン日本の旬の会席料理、すき焼、鴨鍋!!

大切なお客様、歓送迎会、親睦会、県人会、婦人会等々にご利用下さい!!

○各種お弁当サービスも好評!! お気軽にお問い合わせ下さい。

www.restaurantnippon.com

日本 Restaurant そば日本

155 East 52nd Street, NYC
Bet. Lex & 3rd Avenue
212-688-5941, 758-0226
www.restaurantnippon.com

19 West 52nd Street, NYC
Bet. Fifth & 6 Avenue
212-489-2525 (ヨヤクニコニコ)
www.sobanippon.com

IT業界の転職は、IT業界のプロに聞くのが早い。

DEVELOP YOUR IT FUTURE

TAKUMIjob

システムインテグレーター「CACアメリカコーポレーション」が提供する人材派遣・紹介サービス www.takumijob.com